

県立図書館通信

12月号
2015.12.2発行



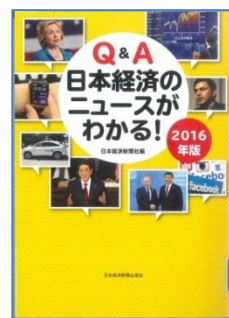
2015年、みなさんはどんな本に出会えましたか？今年はいまだに本を読まなかったな…という方も、まだ冬休みがあります！県立図書館は12月29日まで開館しています。年末も読書を楽しみにお越しください！

県立図書館に最近入った本から、 高校生におすすめの本を紹介します！



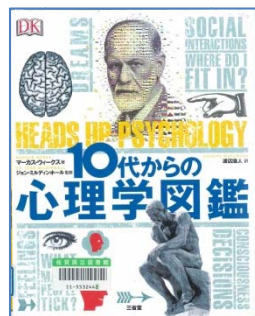
「**えがおの宝物**」
加藤 さくら／著
光文社／発行
資料コード 115530321

10代で亡くなることもある難病「福山型先天性筋ジストロフィー」を患う娘を持つ母親が、つらいときも明るく、笑顔で生きていくための人生のヒントを綴っています。
家族の大切さ、笑顔の大切さを教えてくれる一冊です。



「**Q&A 日本経済のニュースがわかる!**」
日本経済新聞社／編
日本経済新聞出版社／発行
資料コード 115537383

最新の日本経済のニュースをわかりやすく解説。就職試験や、小論文対策に読んでみてはいかがでしょうか。
各項目が4ページの読みきりなので、興味のある部分だけ目を通したり、「ニュースを読み解く重要キーワード20」で話題の用語をおさえたりと、全部しっかり読まなくても、気軽に日本経済を勉強できます。



「**10代からの心理学図鑑**」
マークス・ウィークス／著
三省堂／発行
資料コード 115532442

なぜ寝ている間に夢をみるのだろうか、自分ってどんな人間で、自分らしさって何だろうか、なぜ落ちこむことがあるのだろうかと悩んだり、疑問に思ったことはありませんか？

こういった人間の心理や行動は心理学という分野で研究されています。この本はカラーページで心理学についてわかりやすく書いてあるので、初歩から楽しく学べます。



「**Masato**」
岩城 けい／著
集英社／発行
資料コード 115331175

家族でオーストラリアに引越した真人は、地元の公立小学校に入学します。英語が話せず、クラスメイトからいじめられる毎日を送りますが、言葉の壁を乗り越え、自分の居場所をみつけていきます。一方、母親は海外生活になじむことができず、家族の関係が悪くなっていきます。

日本人としての自分と、英語を話し、海外になじんだ自分の間で葛藤し、揺れ動く心を描いた物語。

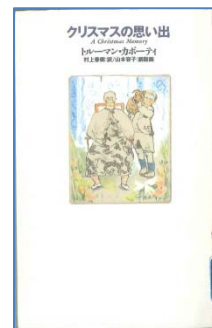


読んでみよう

今月のテーマ クリスマスの本

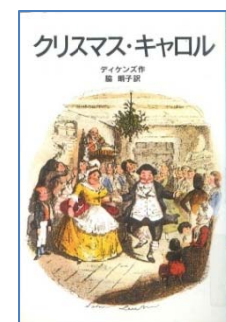


クリスマスはプレゼントをもらったり、ケーキを食べたり、何かと楽しい一日ですね。関連する本を読んで、一足早くクリスマス気分を味わいましょう♪



「**クリスマスの思い出**」
トルーマン・カポーティ／著
文藝春秋／発
資料コード 112238712

7歳の僕と、60歳を越えたいとこのおばあちゃんは友達同士。ケーキを焼いたり、ツリー用の木を切ったりと、二人の懐かしく楽しいクリスマスの思い出を村上春樹が翻訳し、美しい文章で綴っています。
挿絵の銅版画もとっても素敵です。



「**クリスマス・キャロル**」
ディケンズ／著
岩波書店／発
資料コード 170617484

クリスマス前夜、金を儲けることしか頭にないスクールジの前に現れた三人の幽霊たちは、過去・現在・未来を見せてくれます。自分の悲しい未来を見たスクールジは…。

19世紀イギリスのクリスマスの様子をいきいきと伝える、ディケンズの代表的な作品。



第51回新春読書感想文コンクール

作品募集中!

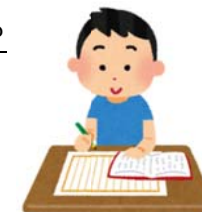
本を読んで、心に残った思いや感動を素直に文章で表現してみませんか？

昨年はたくさんの方の高校生が作品を応募してくれました。

今年度もみなさんの応募をこころよりお待ちしております！

詳しくは佐賀県立図書館ホームページをご覧ください。

<http://www.tosyo-saga.jp/kentosyo/>



■編集■ 佐賀県立図書館 企画課 図書館ネットワーク担当 (0952-24-2900)

◎この通信はHPにも掲載しています。蔵書検索も

できます。☞<http://www.tosyo-saga.jp/kentosyo/>

お問い合わせはこちらまで。

